

2019年5月10日
株式会社 山梨中央銀行

山梨中央銀行グループ SDGs 宣言を公表しました

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、「山梨中央銀行グループ SDGs^{※1}宣言」を公表しましたので、お知らせいたします。

当行は、これまでも本来業務に基づく地域経済活性化への取組みはもちろんのこと、企業市民としての社会的責任を果たすべく、「CSRの基本方針^{※2}」のもと、CSR（企業の社会的責任）活動に取り組んでまいりました。

また、本年4月からスタートした中期経営計画「Value+ 2022」では、社会的にも広く注目されている「SDGs」や「ESG^{※3}」といった新たな視点を取り入れ、豊かで持続可能な地域社会の実現に貢献するため、CSR活動の取組みを強化しています。

今後も、当行グループ役職員は、「山梨中央銀行グループ SDGs 宣言」のもと、地域が直面する課題に対し、一人ひとりが主体的に取り組む、地域の企業・産業の発展を支え、地域を元気にし、地域に暮らす皆さまの豊かな生活づくりを支援することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

「山梨中央銀行グループ SDGs 宣言」の内容につきましては、別添資料でご確認ください。

※1 SDGs とは

「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、「誰一人取り残さない」を基本理念として、気候変動や格差などの幅広い課題解決を目指して2015年の国連サミットで採択された、2016年から2030年までの国際目標です。先進国を含む国際社会全体の持続可能な世界を実現させるための17の目標（ゴール）と169の項目（ターゲット）から構成されています。

※2 CSRの基本方針(2010年9月制定)

「山梨中央銀行は、創業以来不変の経営理念『地域密着と健全経営』のもと、コンプライアンスを基盤としながら、地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員等さまざまなステークホルダーの要請に応え、事業活動を通じて地域経済の発展に尽くすとともに、社会的側面・環境的側面を強く認識し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。」

※3 ESG とは

Environment（環境）・Social（社会）・Governance（企業統治）の頭文字で、「E」の「環境」は環境問題等への取組み、「S」の「社会」は地域社会の課題解決等への取組み、「G」の「企業統治」はお客さま・株主さま・従業員等のステークホルダーに対する取組みです。昨今、この3つの要素に着目して企業を分析し、優れた経営をしている企業に投資する「ESG投資」が注目を集めています。

以上

山梨中央銀行グループ SDGs 宣言

山梨中央銀行グループは、経営理念である「地域密着と健全経営」に基づき、国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献するために、地域金融機関として、地域の企業・産業の発展を支え、地域を元気にし、地域に暮らす皆さまの豊かな生活づくりを支援することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2019年5月10日

頭取 関 光良

重点推進項目

○環境負荷低減に向けた推進

緑豊かな美しい自然を守るため、事業活動を通じた環境負荷低減活動を推進するとともに、環境保全や環境に配慮した事業に取り組むお客さまを支援することで、地域の環境保全活動の活性化や環境問題の解決に取り組んでまいります。



○持続可能な地域経済の発展

地域金融機関として幅広い金融サービスを提供し、地域の企業・産業の発展を支援するとともに、次世代の担い手を育成するための金融リテラシー向上に努め、さまざまな課題解決に取り組んでまいります。



○多様な人材の活用

ダイバーシティの推進により、人権や多様性を尊重し、すべての人々の仕事と家庭・生活を充実させ、多様な人材が活躍できるように取り組んでまいります。

